

臨床研究「先天性心疾患教育への効率的な 3D 心臓モデル活用の探索に関する研究」における患者さんの診療データ使用に関して

筑波大学附属病院小児科では、標題の臨床研究を実施しております。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、下記までご連絡をお願い致します。本研究の概要は以下のとおりです。

#### ① 研究の目的

先天性心疾患は多種多様で、教科書に挙げられるもので 100 種類以上あり、また患者さんによって形態のバラツキや、複数疾患の合併もあるため複雑で理解が困難なものになっています。そのため効率的な学習法の確立が求められます。

先天性心疾患の教育において、3D モデルを作成して活用する試みが行われていますが、まだ結論が出ていません。また、実際にモデルを模型として作成せずに、三次元データ（画像）だけでも教育に有効な可能性もあります。

本研究では、先天性心疾患教育における 3D プリント模型と三次元画像の効果的な活用法を明らかにし、よりよい教育法を探索することを目的とします。

#### ② 研究の概要

先天性心疾患教育に関するセミナーを開催し、セミナー参加者に異なる内容のレクチャーを受けてもらい教育効果を検証します。その際、教育の資材として筑波大学附属病院もしくは茨城県立こども病院で診療を受けた患者さんの、これまでに撮影された CT や MRI 検査のデータを利用させていただきます。検査データを利用開始時点で、仮名加工し名前や生年月日などの個人情報を削除し、どの方の検査データかわからないようにして利用させていただきます。

#### ③ 診療データ使用の対象となる患者さん

ファロー四徴症、両大血管右室起始症、完全大血管転位症、大動脈縮窄複合、総動脈幹症、心室中隔欠損症、心房中隔欠損症の患者さんの診療データを利用させていただく予定です。

2017 年 1 月 1 日から 2022 年 6 月 30 日までの間に筑波大学附属病院もしくは茨城県立こども病院で診療を受けた患者さんの診療データを利用させていただきます。

#### ④ 研究実施期間

研究全体の実施期間は、この研究の実施が許可されてから、2024 年 3 月 31 日までを予定しています。

⑤ 試料・情報の項目

診療の際に撮影されたCT検査やMRI検査を元に3Dプリンタで出力可能な三次元画像イメージを構築させていただきます。三次元画像イメージを収集する時点で、氏名、年齢、性別などの個人情報は削除し、構築された三次元画像イメージに個人情報は含みません。3Dプリンタで出力された模型についても個人情報は含みません。

⑥ 情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

なし

⑦ 情報の管理について責任を有する者

野崎良寛（筑波大学附属病院 小児科 病院講師）

⑧ 共同研究機関と研究責任者

茨城県立こども病院 小児循環器科 林 立申

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究について、検査データを使用されることを希望されず、診療情報利用の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

すでに研究結果が公表されている場合などご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院

所属・担当者：小児科 野崎良寛

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-853-5635（平日9時～17時）

FAX：029-853-8819